

第7期 第1回

令和5年5月16日（火）

令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況

## 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

①ごみ減量・リサイクルの状況について

②可燃ごみの状況について

③不燃ごみの状況について

④粗大ごみの状況について

⑤古紙等の状況について

⑥施設への直接搬入について

⑦取り残しごみの状況について

⑧まとめ

## 2. 令和4年度のごみ処理事業の概要について

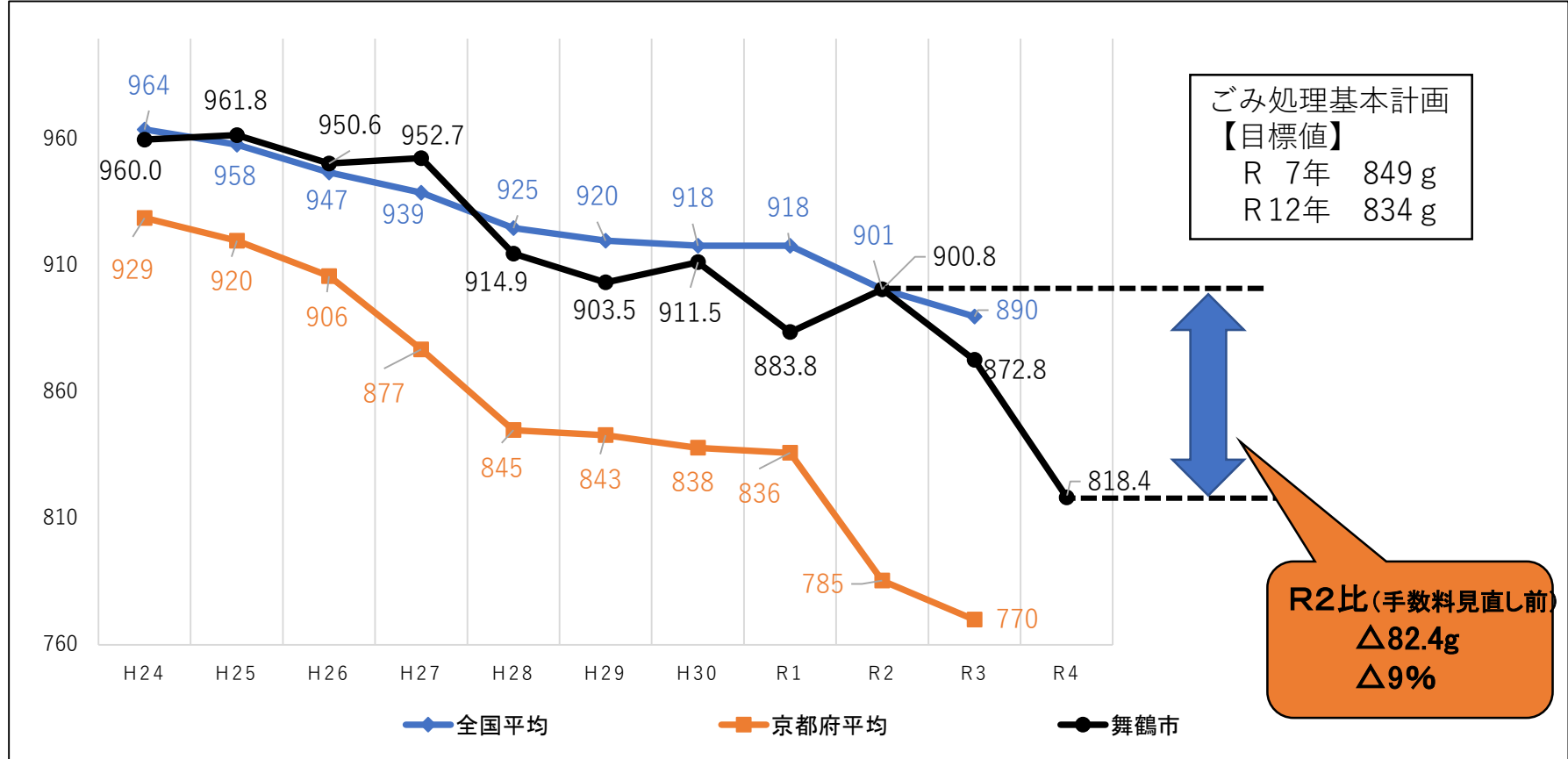
※本資料内の数値は速報値であるため、今後修正となる可能性があります。

# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ①ごみ減量・リサイクルの状況について

### (1) 1人1日あたりごみ排出量の推移について①

- ・令和4年度の1人1日あたりごみ排出量は通年で818.4 g、前年比6%減。
- ・手数料見直し前の令和2年度と比較すると9%減となっている。  
舞鶴市でのごみ減量は大きく進んでいるが、京都府内ではさらにごみ減量が進んでいる。

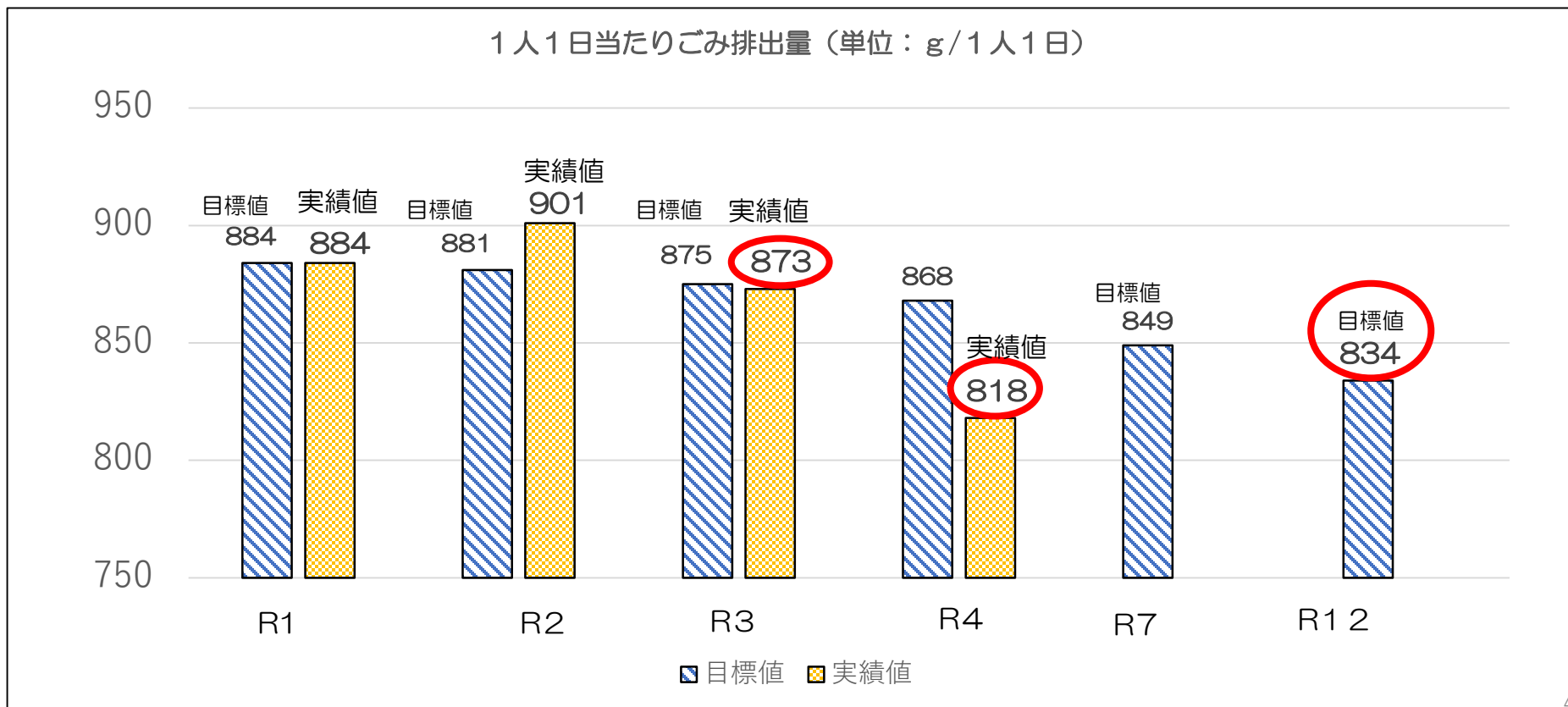


# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ①ごみ減量・リサイクルの状況について

### (1) 1人1日あたりごみ排出量の推移について②

- ごみ処理基本計画では、1人1日あたりごみ排出量の目標値を令和元年度実績884gから、令和12年度には834gとする目標を設定している。
- 令和4年度の実績は目標値を上回る818gとなっており、中間目標年度である令和7年度には目標値の見直しを検討。



# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ①ごみ減量・リサイクルの状況について

### (2)ごみ減量、資源化、最終処分の状況

- ・令和4年度の1人1日あたりごみ排出量、1人1年あたり最終処分量は減少しており、ごみ減量・埋立量の削減が進んでいる。一方で、資源化率は概ね横ばいで推移。
- ・引き続き、京都府内の状況を意識し取り組みを進める必要がある。

	舞鶴市			京都府	舞鶴市ごみ処理計画 R12(目標値)
	R2実績	R3実績	R4実績	令和3年度 府内平均	
1人1日あたり ごみ排出量	900.8g	872.8g	818.4g	775g	834g
資源化率	14.0%	14.1%	14.2%	13.9%	17.5%
最終処分量 (1人/年)	52.0kg	52.3kg	44.7kg	38.2kg	41.6kg

# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ①ごみ減量・リサイクルの状況について

### (3)ごみ排出量について

- ごみ排出量については、人口減少に伴い年々減少傾向にあるが、令和4年度の減少割合は大きくなっている。

	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減
ごみ排出量(t)	26,219.2 t	24,985.7 t	△1,233.5 t △4.7%	23,066.2 t	△3,153.0 t △12.0%
可燃ごみ(t)	20,150.3 t	19,366.9 t	△783.4 t △3.9%	18,452.2 t	△1,698.1 t △8.4%
不燃ごみ(t)	3,025.3 t	2,846.5 t	△178.8 t △5.9%	2,249.7 t	△775.6 t △25.6%
粗大ごみ(t)	1,140.3 t	1,072.3 t	△68.0 t △6.0%	821.2 t	△319.1 t △28.0%
古紙等(t)	1,903.3 t	1,700.0 t	△203.3 t △10.7%	1,543.1 t	△360.2 t △18.9%

古紙等＝古紙直接搬入+集団回収+分別回収

# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ①ごみ減量・リサイクルの状況について

### (4) 1人1日あたりごみ排出量について

- 令和4年度の1人1日あたりごみ排出量は、令和2年度比で82.4 g減。全品目で排出量が減少しているが、不燃ごみでは23.2%減、粗大ごみでは25.7%減と減少割合が大きい。

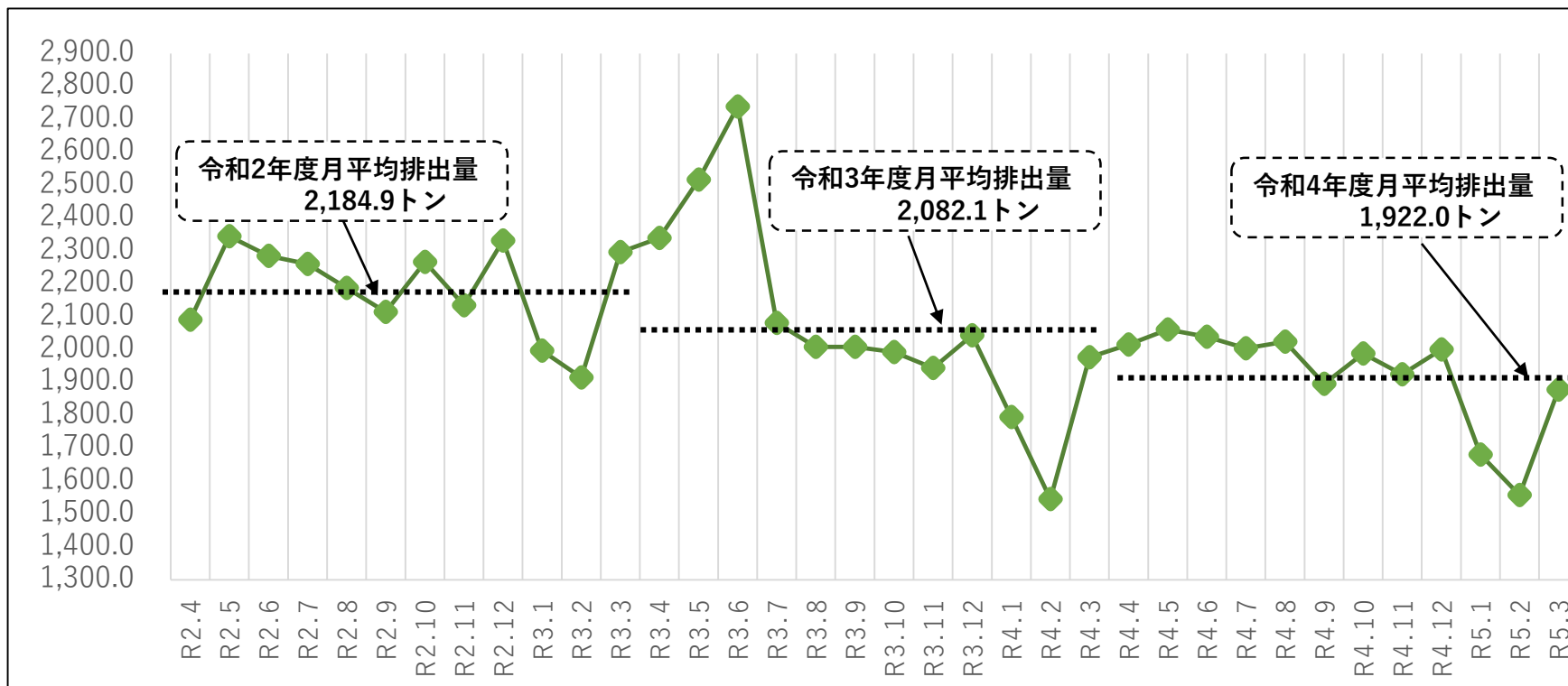
	R2	R3		R4	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減
1人1日ごみ排出量 (g/1人1日)	900.8 g	872.8 g	Δ28.0 g Δ3.1%	818.4 g	Δ82.4 g Δ9.1%
可燃ごみ(g/1人1日)	692.3 g	676.5 g	Δ15.8 g Δ2.3%	654.7 g	Δ37.6 g Δ5.4%
不燃ごみ(g/1人1日)	103.9 g	99.4 g	Δ4.5 g Δ4.3%	79.8 g	Δ24.1 g Δ23.2%
粗大ごみ(g/1人1日)	39.2 g	37.5 g	Δ1.7 g Δ4.3%	29.1 g	Δ10.1 g Δ25.7%
古紙等(g/1人1日)	65.4 g	59.4 g	Δ6.0 g Δ9.2%	54.8 g	Δ10.6 g Δ16.2%

# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ①ごみ減量・リサイクルの状況について

### (5)ごみ排出量(全品目)の推移について(単位：t)

- ごみ月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度と比較し、月平均で262.9トン、12%減少している。





# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ②可燃ごみの状況について

### (1) 可燃ごみ排出量の内訳について(単位：t)

- ・可燃ごみは生活系・事業系の合計で8.4%減。
- ・生活系ごみの減少割合が大きく10%減少しており、特に、直接搬入量が顕著に減少している。

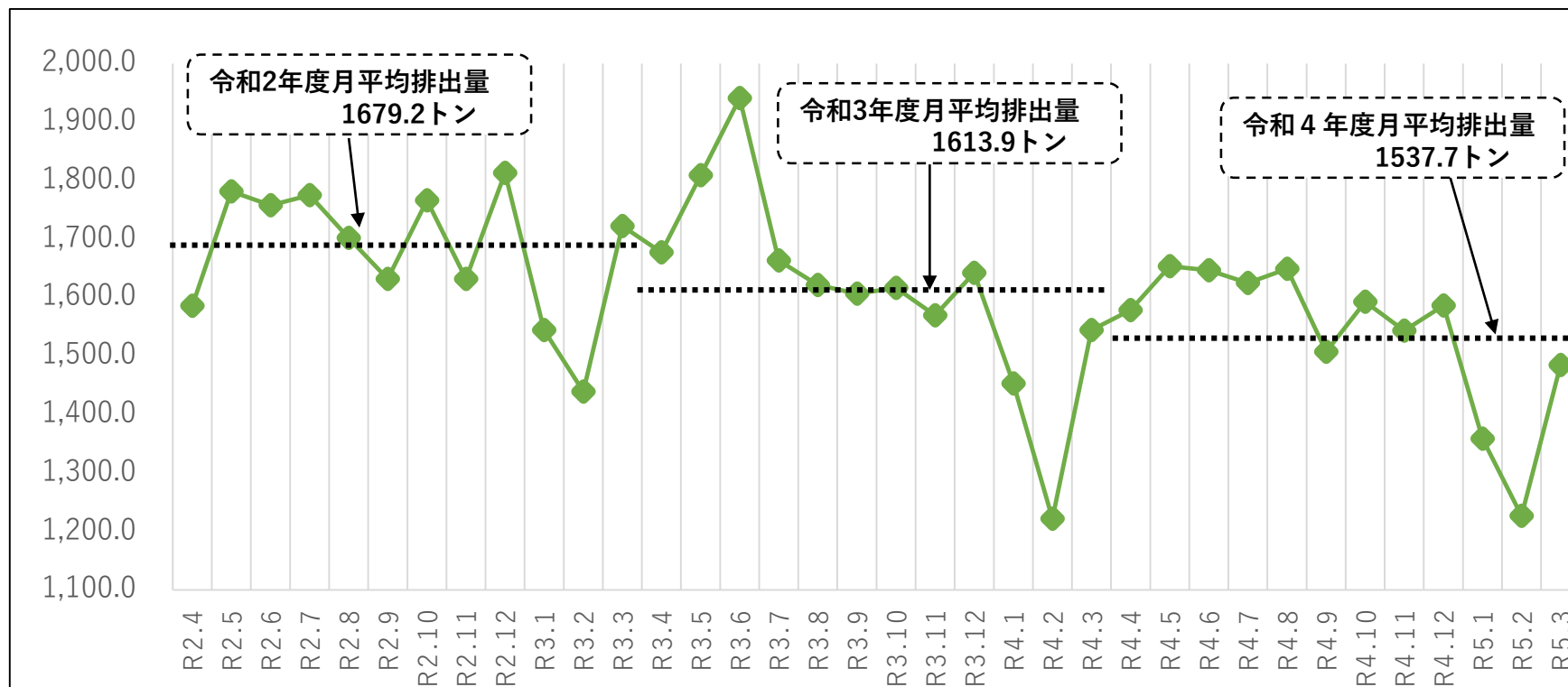
		令和2年度	令和3年度		令和4年度		
		実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減	
可燃ごみ排出量	生活系	13,312.5 t	12,574.8 t	△737.7 t △5.5%	11,976.4 t	△1,336.1 t △10.0%	
		事業系	6,837.8 t	6,792.2 t	△45.6 t △0.7%	6,475.8 t	△362.0 t △5.3%
			合計	20,150.3 t	19,366.9 t	△783.4 t △3.9%	18,452.2 t
	収集		生活系	10,385.7 t	10,496.5 t	110.8 t 1.1%	10,471.9 t
		事業系	5,675.3 t	5,646.0 t	△29.3 t △0.5%	5,476.2 t	△199.1 t △3.5%
		合計	16,061.0 t	16,142.5 t	81.5 t 0.5%	15,948.1 t	△112.9 t △0.7%
	直接搬入	生活系	2,926.8 t	2,078.3 t	△848.5 t △29.0%	1,504.6 t	△1,422.2 t △48.6%
		事業系	1,162.5 t	1,146.1 t	△16.4 t △1.4%	999.6 t	△162.9 t △14.0%
		合計	4,089.3 t	3,224.4 t	△864.9 t △21.2%	2,504.1 t	△1,585.2 t △38.8%

# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ②可燃ごみの状況について

### (2) 可燃ごみ排出量の推移について(単位：t)

- 可燃ごみ月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度の平均と比較して、8.4%減少。季節的変動はあるが、ごみ減量効果は継続していると推測。



# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ②可燃ごみの状況について

### (3) 1人1日あたり可燃ごみ排出量について(単位：g)

- 令和4年度のごみ量は令和2年度と比較し、37.6g、5.4%減少。  
生活系可燃ごみは32.5g、7.1%減。事業系可燃ごみは5.1g、2.2%減。
- 生活ごみの減少が大きく、市民のごみ排出行動やライフスタイルの見直しが定着しつつあると推測される。

	R2	R3		R4	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減
1人1日あたり 可燃ごみ排出量	692.3g	676.5g	△15.8g △2.3%	654.7g	△37.6g △5.4%
生活系可燃ごみ	457.4g	439.3g	△18.1g △4.0%	424.9g	△32.5g △7.1%
事業系可燃ごみ	234.9g	237.3g	2.4g 1.0%	229.8g	△5.1g △2.2%

# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ③不燃ごみの状況について

### (1)不燃ごみ(7種9分別)排出量について(単位：t)

- ・不燃ごみ総排出量は令和2年度比で775.6 t、25.6%減少
- ・指定ごみ袋制に移行した品目以外でも排出量は減少している。有害ごみについては、スプレー缶の区分見直しが増加要因と推測。

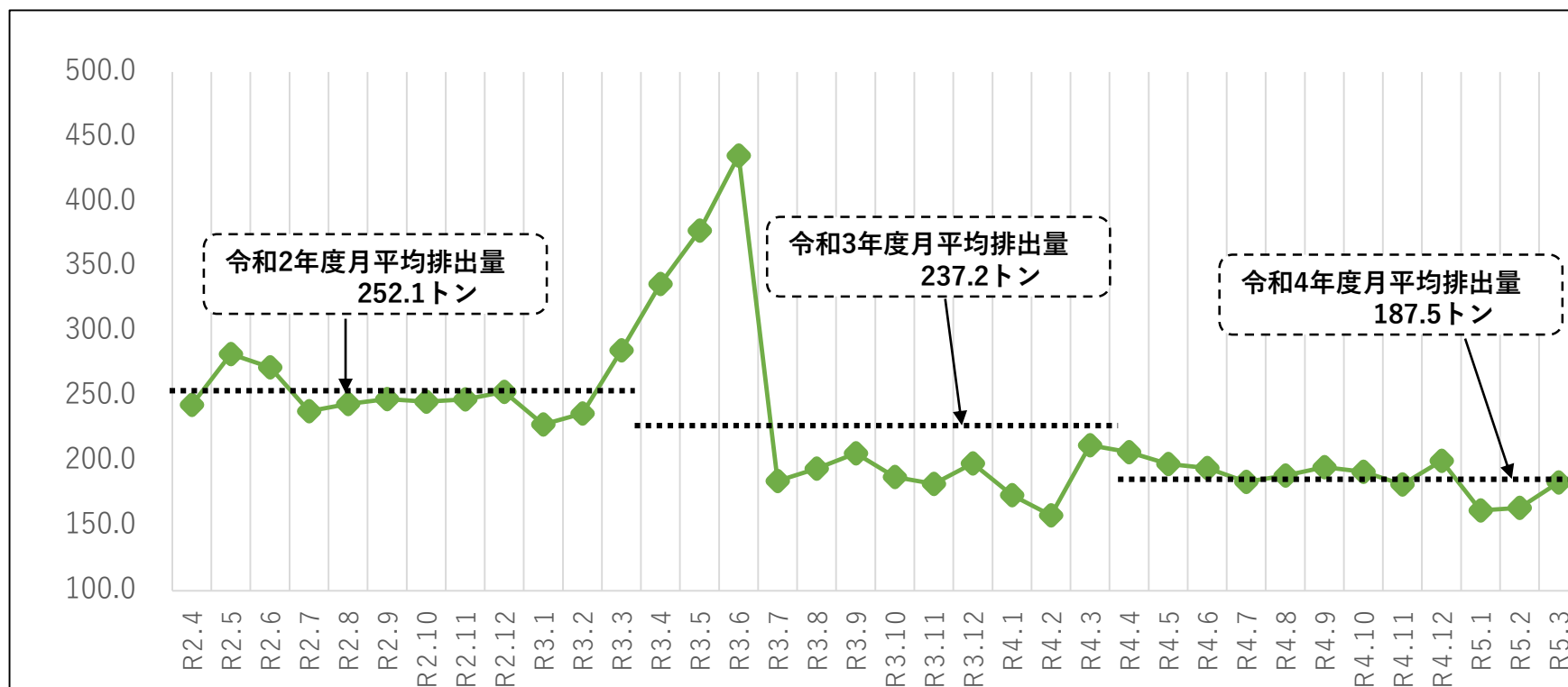
	R2	R3		R4	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減
不燃ごみ(7種9分別)	3,025.3 t	2,846.5 t	△178.8 t △5.9%	2,249.7 t	△775.6 t △25.6%
埋立ごみ	1,411.8 t	1,297.0 t	△114.8 t △8.1%	828.5 t	△583.3 t △41.3%
プラスチック 容器包装類	615.5 t	634.6 t	19.1 t 3.1%	608.1 t	△7.4 t △1.2%
ペットボトル	182.2 t	148.0 t	△34.2 t △18.8%	140.5 t	△41.7 t △22.9%
金属類	252.1 t	231.8 t	△20.3 t △8.1%	162.3 t	△89.8 t △35.6%
飲料用空缶類	116.5 t	101.7 t	△14.8 t △12.7%	89.4 t	△27.1 t △23.3%
食用びん類	380.6 t	373.8 t	△6.8 t △1.8%	349.4 t	△31.2 t △8.2%
有害ごみ	66.7 t	59.6 t	△7.1 t △10.6%	71.6 t	4.9 t 7.3%

# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ③不燃ごみの状況について

### (2)不燃ごみ(7種9分別)排出量の推移について(単位：t)

- 不燃ごみ月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度の同時期と比較し、25.6%減少。令和4年度は季節的変動はあるものの安定的に推移している。



# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ③不燃ごみの状況について

### (3) 1人1日あたり不燃ごみ排出量について(単位：g)

- 令和4年度の1人1日あたり不燃ごみ排出量は令和2年度比で23.2%減。
- 有料化を実施した品目では、埋立ごみが39.4%減、プラスチック容器包装類が2.2%増、ペットボトルが21%減となっている。
- ごみ処理手数料見直し後、ごみ減量効果は継続しているものと推測される。

	R2	R3		R4	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減
不燃ごみ(7種9分別)	103.9 g	99.4 g	△4.5 g △4.3%	79.8 g	△24.1 g △23.2%
埋立ごみ	48.5 g	45.3 g	△3.2 g △6.6%	29.4 g	△19.1 g △39.4%
プラスチック 容器包装類	21.1 g	22.2 g	1.1 g 5.2%	21.6 g	0.5 g 2.2%
ペットボトル	6.3 g	5.2 g	△1.1 g △17.5%	5.0 g	△1.3 g △21.0%
金属類	8.7 g	8.1 g	△0.6 g △6.9%	5.8 g	△2.9 g △33.3%
飲料用空缶類	4.0 g	3.6 g	△0.4 g △10.0%	3.2 g	△0.8 g △20.0%
食用びん類	13.1 g	13.1 g	0.0 g 0.0%	12.4 g	△0.7 g △5.3%
有害ごみ	2.3 g	2.1 g	△0.2 g △8.7%	2.5 g	0.2 g 8.7%

# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ④粗大ごみの排出状況について

### (1)粗大ごみ排出量、ごみ出し支援戸別収集の状況について

- 粗大ごみの排出量は減少。一方で、粗大ごみ戸別収集の利用件数は増加傾向にあり、10年前の平成25年と比較し、約2倍に増加している。
- 高齢者等ごみ出し支援戸別収集の申請件数は増加。利用者の休止・廃止が多いが、継続的に利用申請があり、利用は定着しつつある。

	R2	R3		R4	
	実績値	実績値	R2比増減	実績値	R2比増減
粗大ごみ総排出量(単位:t)	1,140.3 t	1,072.3 t	△68.0 t △6.0%	821.2 t	△319.1 t △28.0%
直接搬入量(単位:t)	1,095.7 t	1,026.8 t	△68.9 t △6.3%	774.5 t	△321.2 t △29.3%
戸別収集量(単位:t)	44.5 t	45.5 t	1.0 t 2.2%	46.7 t	2.2 t 5.0%
戸別収集利用件数(世帯数)	705件	821件	116件増	788件	83件減
1人1日あたり 排出量(単位:g)	39.2 g	37.5 g	△1.7 g △4.3%	29.1 g	10.1 △25.7%
	R2	R3		R4	
高齢者等ごみ出し支援戸別収集 利用件数(休止・廃止を除く) ※年度末時点	—	108世帯	—	148世帯	40世帯増

# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ⑤古紙等の状況について

### (1)古紙等排出量について(単位：t)

- 古紙等の排出量は、令和2年度と比較し19%減少。清掃事務所への直接搬入量が59.1%減となっている。

	R2	R3		R4	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減
古紙等	1,903.3 t	1,700.0 t	Δ203.3 t Δ10.7%	1,543.1 t	Δ360.2 t Δ18.9%
分別収集※1	698.3 t	728.7 t	30.4 t 4.4%	680.7 t	Δ17.6 t Δ2.5%
直接搬入※2	594.0 t	390.6 t	Δ203.4 t Δ34.2%	243.0 t	Δ351.0 t Δ59.1%
集団回収※3	611.1 t	580.7 t	Δ30.4 t Δ5.0%	619.4 t	8.3t 1.4%

※1 不燃ごみ収集日の各ステーションでの排出量

※2 清掃事務所への直接搬入量

※3 自治会や老人会等による自主的な資源回収活動による回収量



# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ⑤古紙等の状況について

### (2)古紙等の1人1日あたり排出量について(単位：g)

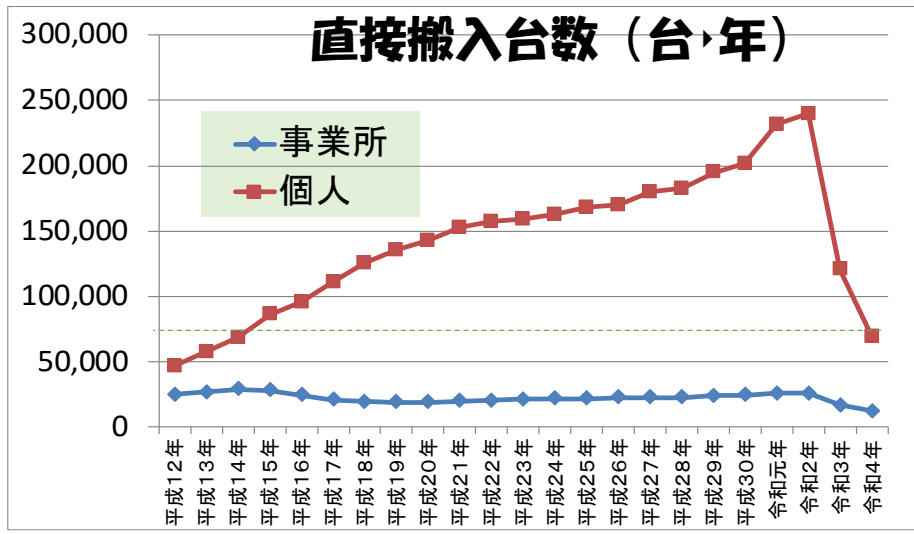
- 行政回収量（不燃ごみ収集日での回収）では大きな変化は無いが、直接搬入量が57.8%減少している。
- 一方で、集団回収は、近年は、新型コロナウイルス感染症対策のために活動が縮小していたが、R4は若干回復している。

	R2	R3		R4	
	実績	実績	R2比増減	実績	R2比増減
1人1日あたり 古紙等排出量	65.4 g	59.4 g	△6.0 g △9.2%	54.8 g	△10.6 g △16.2%
	分別収集	24.0 g	25.5 g 1.5 g 6.3%	24.2 g	0.2 g 0.8%
	直接搬入	20.4 g	13.6 g △6.8 g △33.3%	8.6 g	△11.8 g △57.8%
	集団回収	21.0 g	20.3 g △0.7 g △3.3%	22.0 g	1.0 g 4.8%

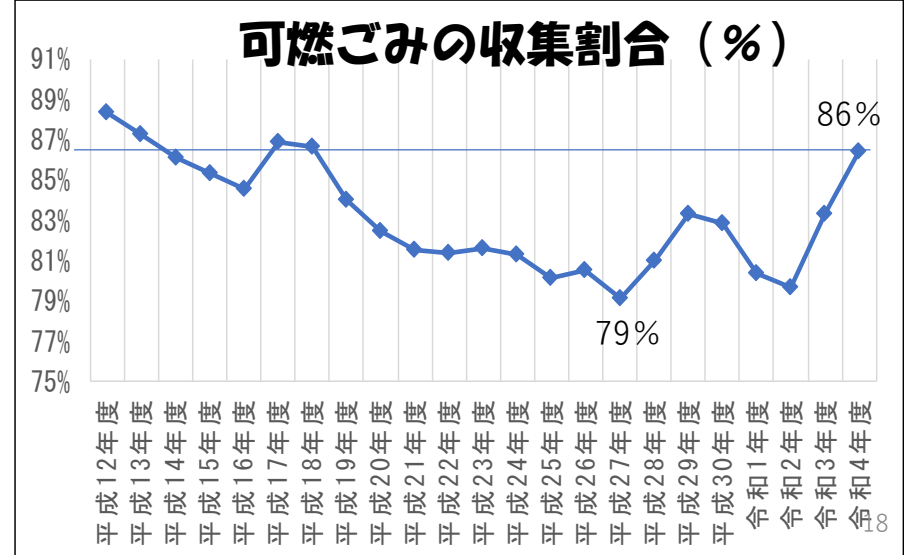
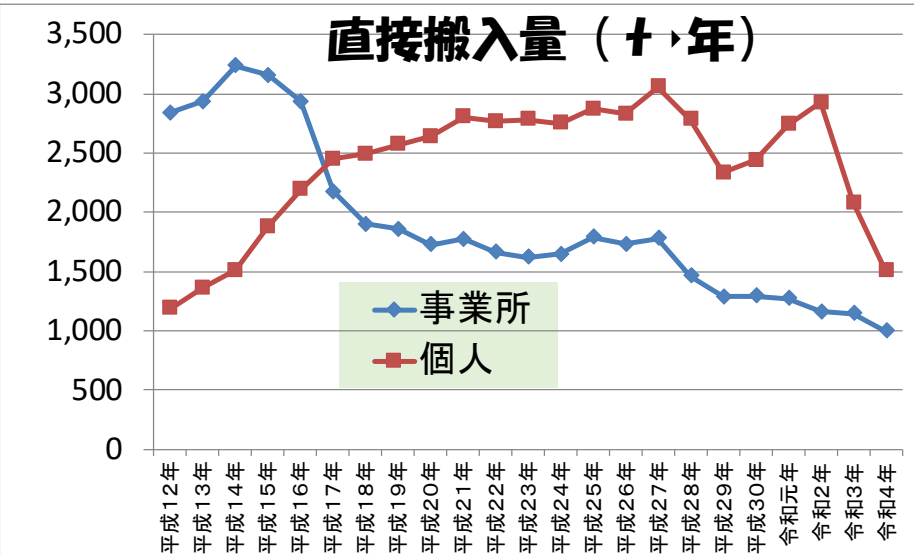
# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ⑥施設への直接搬入について

### (1) 清掃事務所への直接搬入の状況



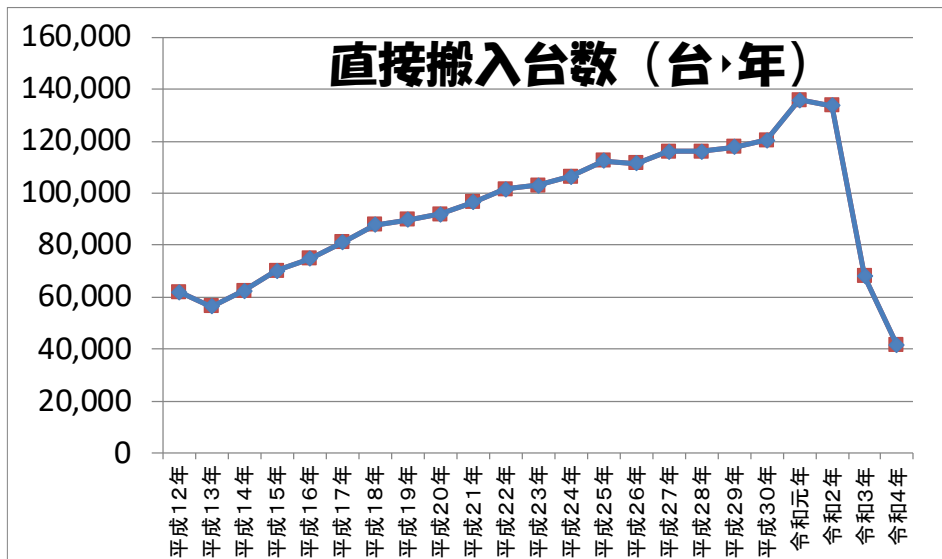
- 直接搬入の利用は大きく減少しており、来場者の増加による施設周辺の渋滞、施設管理上の課題は軽減されている。(R2日平均730台⇒R4日平均230台)
- 一方で、1台あたりの搬入重量は令和2年度は15kg/台であったが、令和4年度は30kg/台となり倍増している。



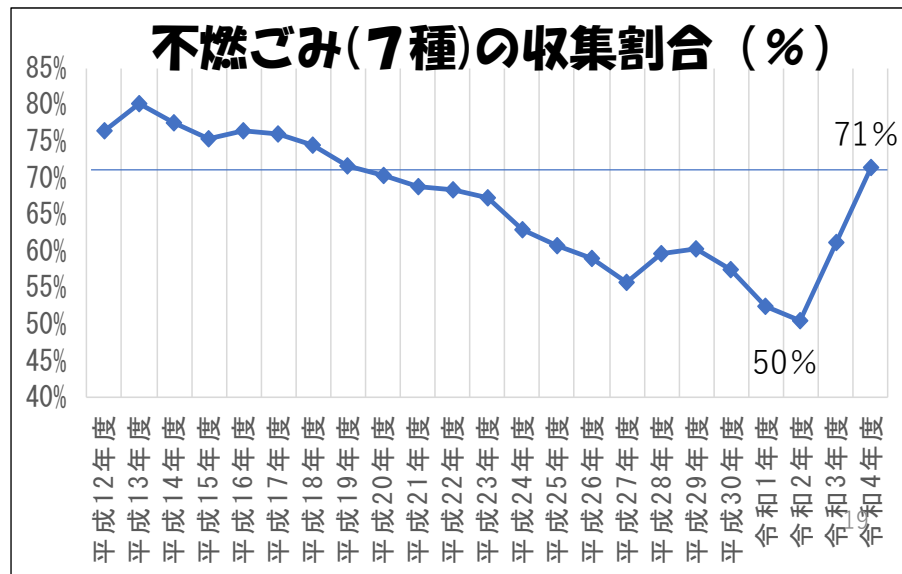
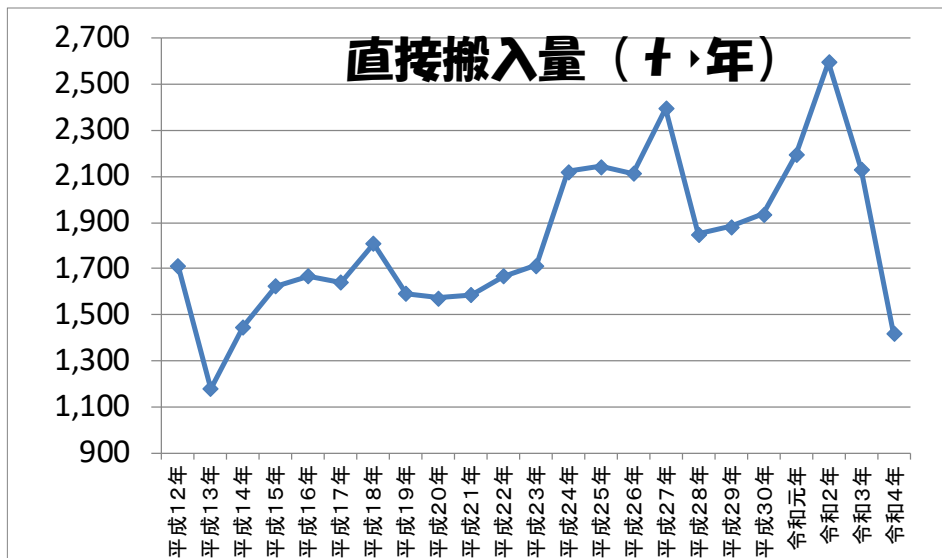
# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ⑥施設への直接搬入について

### (2) リサイクルプラザへの直接搬入の状況



- 直接搬入の利用は大きく減少しており、来場者の増加による施設周辺の渋滞、施設管理上の課題は軽減されている。(R2日平均370台⇒R4日平均120台)
- 一方で、1台あたりの搬入重量は令和2年度は16kg/台であったが、令和4年度は34kg/台となり2.1倍増加している。



# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ⑦取り残しごみの状況について

### (1) 令和4年度の不燃ごみ取り残し状況（収集できないごみ） ※単位：袋/月

- 1カ月間に取り残しとなる不燃ごみの袋数（月平均）は減少しているが、ごみ処理手数料見直し前の令和2年度と比較すると大きく増加している。

#### 主な分別間違い

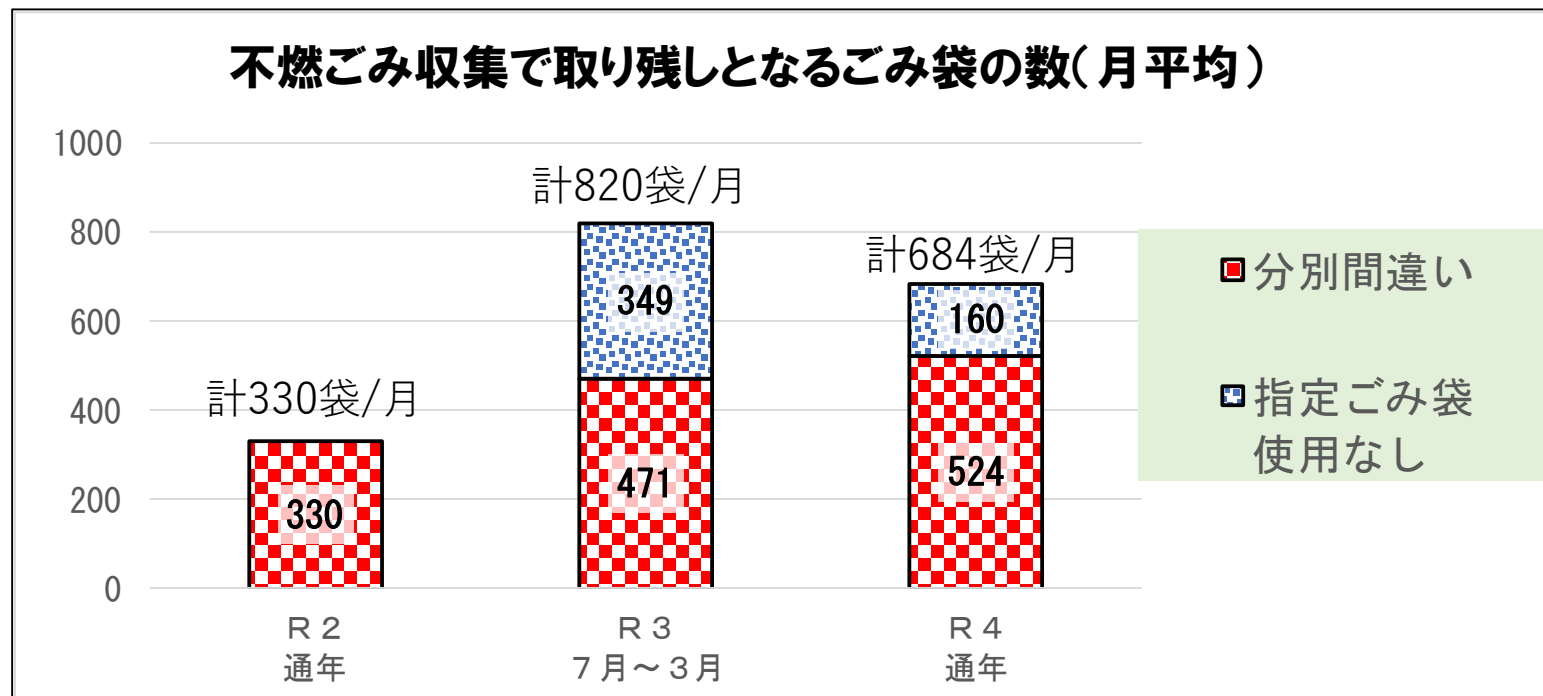
埋立ごみ

⇒可燃ごみが埋立ごみとして排出されているもの

プラスチック容器包装類

⇒プラスチック製品が混入しているもの

汚れのあるものが混入しているもの など



# 1. 令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

## ⑧令和4年度のごみ減量・リサイクルの状況（まとめ）

### （1）ごみ減量、リサイクルの状況について

- 令和3年7月のごみ処理手数料見直し後は、市民1人あたりのごみ排出量は減少しており、現状では減量効果は継続している。
- 直接搬入の古紙量が大きく減少しているものの、ごみ排出総量が減少したこともあり、資源化率は横ばい。
- 新型コロナウイルスの流行がピークを過ぎ、各種活動の正常化に伴い、事業系可燃ごみの排出量が令和2年度の水準に戻りつつある。また、地域で行われる集団回収活動も若干回復している。

### （2）直接搬入について

- 直接搬入台数の減少により、施設周辺の交通渋滞は解消され、搬入量の受け入れによる施設の負担も軽減している。

### （3）適正排出と取り残しごみについて

- ごみ処理手数料見直しでは分別区分の変更は行っていないが、取り残しごみは増加している。
- 引き続き適正排出に向けて啓発するとともに、ごみの取り残し要因など、排出状況の把握に努める。

## 2. 令和4年度のごみ処理事業の概要について

①ごみ減量・資源化の啓発  
可燃ごみ組成調査の実施

②清掃事務所の取り組み

③リサイクルプラザの取り組み  
ペットボトルのリサイクルルートの見直し【ボトルtoボトル】

④最終処分場の状況

## ①ごみ減量・資源化の啓発

### (1) 舞鶴市ごみ分別ルールブックの全戸配布について

令和3年度までは新聞折込により配布してきたが、新聞の定期購読世帯の減少に対応するとともに、ごみ排出ルールの周知を図るため、令和4年度からごみ分別ルールブックの全戸配布を実施。

- 3月から、約3週間かけて配布。
- 配布数は約15,000部増加  
【R3】 24,350部 → 【R4】 38,900部



### (2) まいづる環境市民会議 循環型PT事業

- 絵本の配布を通して、物を大切にする心やリユースの大切さを学んでもらうことを目的に「えほんのリユース会」を開催。  
※絵本はおもちゃ交換会「かえっこバザール」で集まったものを配布。
- 小学生向け啓発チラシの作成。  
(出前授業等で配布)



「えほんのリユース会」  
(R4.11 東図書館)

## 2. 令和4年度のごみ処理事業の概要について

### ①可燃ごみ組成調査（1）

- 本市のごみ総量のうち約86%が可燃ごみであり、ごみの実態を把握し、ごみの減量や資源化の優先順位を検討する上で、組成調査は有効な調査となる。
- 令和4年度の調査では、京都府立大学等の研究機関の協力をいただき、食品ロスの実態についても調査を行った。



組成調査の様子



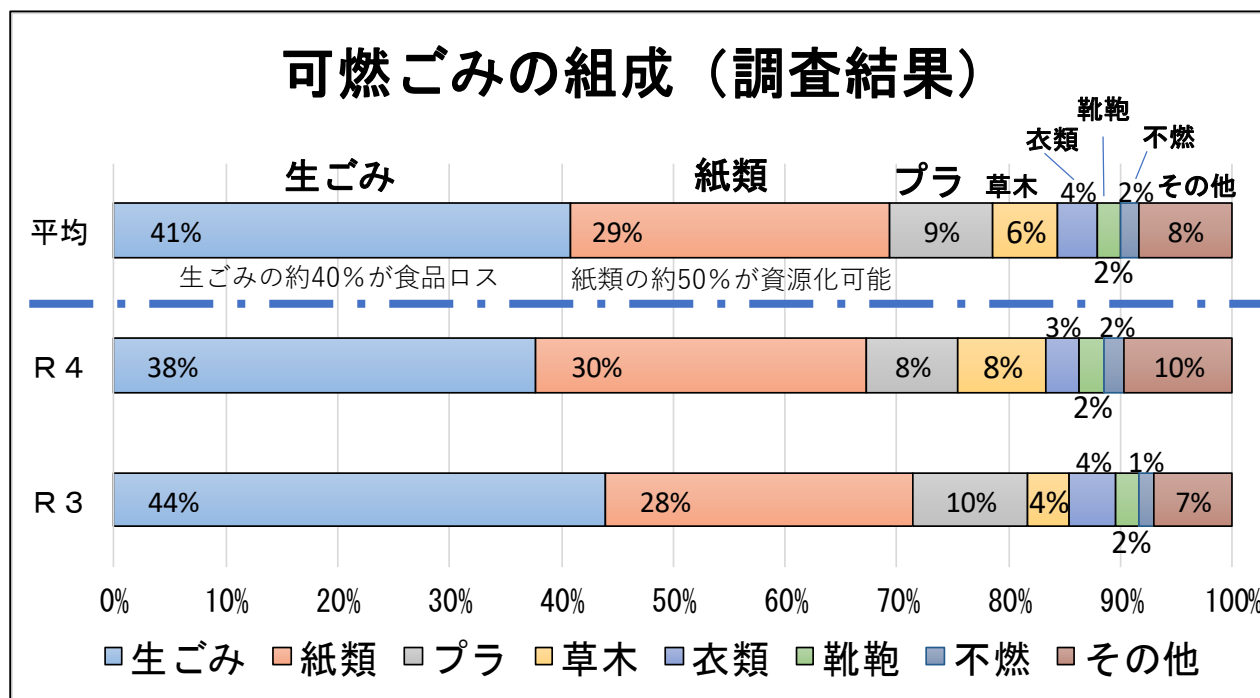
可燃ごみに含まれていた食品ロス



## 2. 令和4年度のごみ処理事業の概要について

### ①可燃ごみ組成調査（2）

- 組成調査の結果、可燃ごみの中で最も多いものが生ごみで41%含まれており、生ごみのうち約40%が「食品ロス」であった。次に多いものは紙類の29%で、うち、約50%が「資源化可能な紙類」であった。
- また、可燃ごみ組成調査に関連し、京都府立大学等による実証実験事業が行われ、①約210世帯を対象とする食品ロス削減に関する意識調査・削減効果に関する調査（食品ロス削減モデル事業）、②各家庭での食品ロス削減の取組み効果に関する調査（食品ロス削減モニター事業）の実施に協力した。



## 2. 令和4年度のごみ処理事業の概要について

### ②清掃事務所の取り組み

#### (1) 整備工事の概要

- 施設の老朽化による更新工事（令和元年～5年）
  - 第1工場は整備から25年、第2工場は35年経過しているため、焼却設備（焼却炉内のレンガやガス冷却施設など）の基幹設備の更新を行うもの。

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
契約関係	■ 入札、契約				
設計関係		■ 詳細設計			
2号炉工事		■			
1号炉工事				■ 煙突工事	
その他					■ 飛灰サイロ ■ 新設

受入供給設備  
 燃焼設備  
 燃焼ガス冷却設備  
 排ガス処理設備  
 通風設備  
 灰出し設備  
 電気設備  
 計装設備



#### (2) 施設の変更点

- 焼却炉の24時間運転による省エネ化。
- 飛灰（排ガスに含まれるばいじん）のリサイクル（R5秋以降開始）。
- 第2工場は休炉。

## 2. 令和4年度のごみ処理事業の概要について

### ③リサイクルプラザの取り組み

#### (1) スプレー缶の分別区分見直し、処理設備の導入

- 令和4年度から、スプレー缶処理機（安心カンカン）を本格稼働。
- スプレー缶の分別区分を「金属類」から「有害ごみ」に変更し、排出時には「使い切って穴を開けずに出す」こととした。
- 有害ごみの排出量は前年比12t増加。



#### (2) リサイクル・リユースの啓発事業 令和2年度以降新型コロナウイルス感染症対策のため実施していなかった事業を再開。

- リサイクルフリーマーケット（7月、11月）
- 夏休み親子工作教室（8月）
- 一般向け再生工作教室（7月、12月）



## 2. 令和4年度のごみ処理事業の概要について

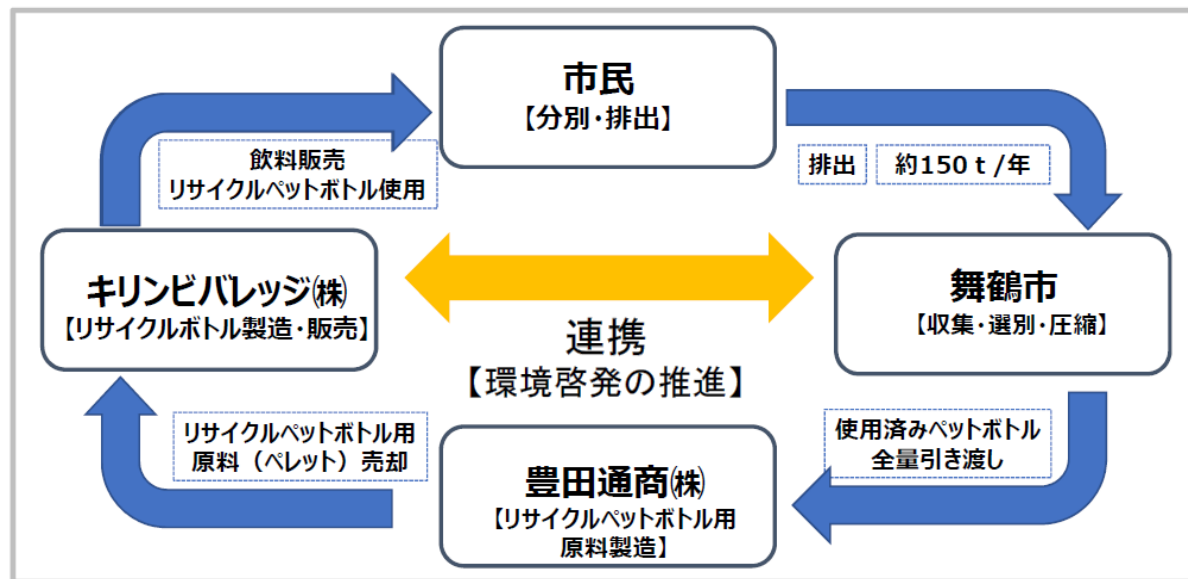
### ③ペットボトルのリサイクルルートの見直し【ボトルtoボトル（水平リサイクル）】(1)

#### 1. ボトルtoボトル（水平リサイクル）に係る協定の締結

豊田通商株式会社・キリンビバレッジ株式会社・舞鶴市の3者が協力して、舞鶴市が分別収集する使用済みペットボトルを安定的にペットボトルとして水平リサイクルすることにより、環境にやさしい持続可能な循環型社会の実現に資することを目的に協定を締結。

#### 2. 連携・協力する事項

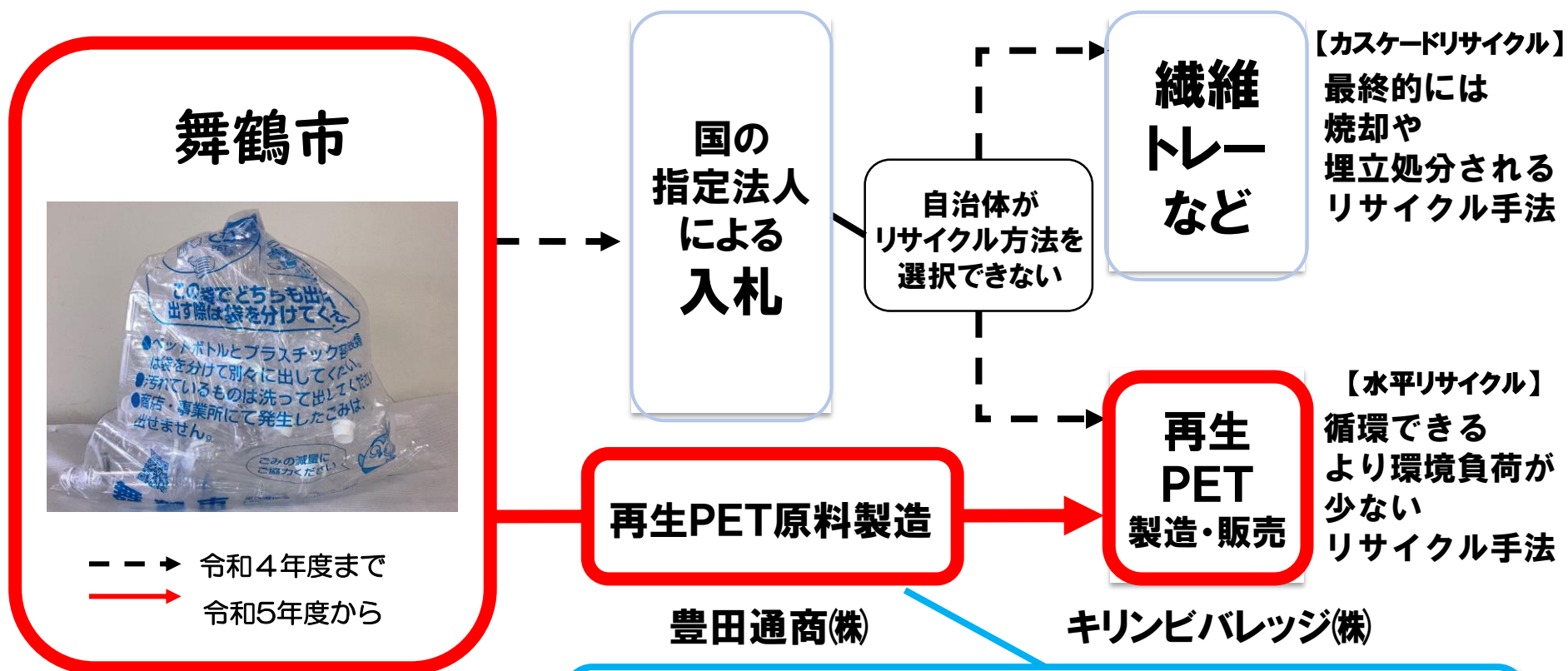
- (1) ペットボトルの水平リサイクルに係る市民等への普及啓発に関する事
- (2) ペットボトルの水平リサイクルの枠組みの維持に関する事
- (3) その他ペットボトルの水平リサイクル及び資源循環の推進に関する事



## 2. 令和4年度のごみ処理事業の概要について

### ③ペットボトルのリサイクルルートの見直し【ボトルtoボトル（水平リサイクル）】(2)

#### 回収されるペットボトルの資源化の流れ（赤枠＝協定締結後の流れ）

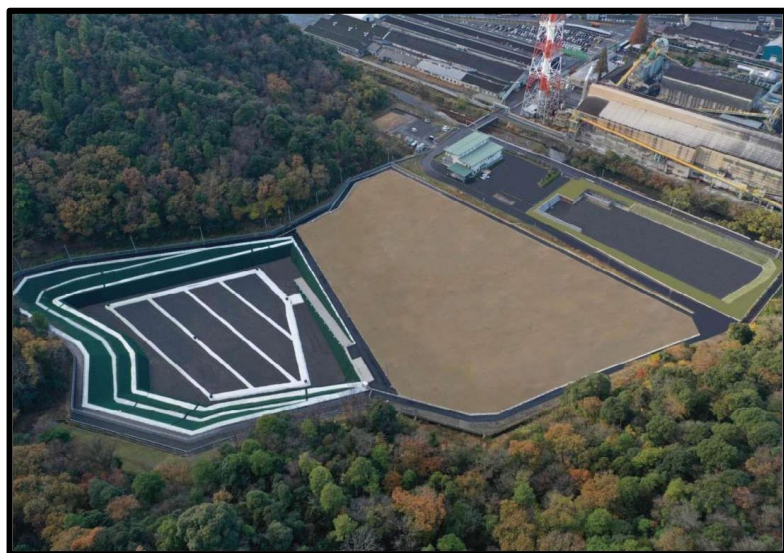


市民：分別排出(分別方法は変わらず)  
舞鶴市：分別収集(約150 t/年)

市民が丁寧に分別したペットボトルは豊田通商のリサイクル工場(豊通ペットリサイクルシステム(株))に運ばれ、100%ペットボトルに再び生まれ変わるリサイクルルートができます。

## 2. 令和4年度のごみ処理事業の概要について

### ④舞鶴市一般廃棄物最終処分場



供用開始：令和4年度  
処理能力：埋立ごみ容量10万 $\text{m}^3$   
水処理能力100 t/日  
供用期間：約15年間

#### (1) 舞鶴市一般廃棄物最終処分場 新処分場の供用

##### ・年間埋立量（実績）

令和4年度 3,452.7 t (R2比 695.2 t 減、17%減)

##### (参考)

令和2年度 4,147.9 t

令和3年度 4,104.6 t

#### (2) 社会見学の受け入れ

- ・小学校5校の見学を受け入れ。
- ・ごみの減量と最終処分場の供用年数との関わりについて説明。

# 会議開催後の資料の修正について

令和5年5月16日（火）開催の会議資料ではごみ量を速報値にて報告しておりました。この後実績値では、集団回収量が速報値の617.1 t から実績値の619.4 t となりました。

このため、ごみ量について会議資料を以下のとおり修正しております。

- ・古紙等排出量

1,540.8 t → 1,543.1 t

- ・ごみ排出量 ※可燃ごみ＋不燃ごみ＋粗大ごみ＋古紙等

23,063.9 t → 23,066.2 t

- ・1人1日あたりごみ排出量

818.3 g → 818.4 g

このほか、集団回収量に関連する数値を修正しております。